

“移住者”を呼び込む！“全天候型”アーバンスポーツパークを核とした茨城県境町のまちづくり ～オリンピックレガシーの継承～ ⑥茨城県境町



<目標分野> ※該当するものに全て印

- ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ☑ ③ 自然と体を動かしてしま「楽しいまち」への転換

<目標内容> アーバンスポーツパークを活用した持続可能な交流人口拡大・健康まちづくり等“地方創生”の実現！

- ①【交流人口の拡大】 交流人口：約70万人（令和元年）→ 約200万人（令和6年）
- ②【移住定住の促進】 社会増減数：40人（令和元年）→ 300人（累積、令和2年～令和6年）
- ③【健康促進】 アーバンスポーツパーク2nd 延べ利用者数：約4万人（累計、令和6年度～8年度）

<PRポイント>

- ①【東京2020五輪会場を移設し全天候化！】～ハード整備の充実～  
東京五輪でBMXフリースタイル・パークの会場となった施設を移設して、雨の日でも使用できるよう**全天候化**で整備。  
**オリンピックレガシーを継承**するとともに、夏の**熱中症対策**としても効果的。
- ②【国際大会を誘致可能！】～アウトウ事業の推進～  
アーバンスポーツの総合国際大会である「**F I S E (エクストリーム・スポーツ国際フェスティバル)**」を今後開催予定。
- ③【競技人口の普及と健康増進！】～インナー事業の推進～  
2024年のパリ五輪に向け注目が集まるアーバンスポーツの更なる**競技人口普及**と、幅広い世代の**健康増進**に寄与。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<概要> 計画期間：～令和9年3月31日（※施設は令和5年度中の完成を予定）

<現状・課題>

- アーバンスポーツの国際大会誘致を目的に**世界レベルのアーバンスポーツパーク（1st）**を整備し、これまで、BMXフリースタイル・パーク及びローラーフリースタイル（アグレッシブラインスケート）の日本大会開催や、小さな子ども向けにストライダーのイベント等を開催してきた。
- しかし、これらの大会やイベントでは**雨により度々中断や中止**を余儀なくされ、**安定的に開催することが厳しい状況**にあったことから、今後国際大会を誘致する上で施設に屋根を付け**全天候化することは必須**である。
- また、練習で使用される利用者にとっても、昨今の**猛暑日が続く夏では熱中症の危険**もあることから、全天候化によりこういった**危険を回避**しなければならない。



<総合的な取組内容>



【フォローアップ欄】令和6年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部 地方創生課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第六次境町総合計画
- 地域スポーツコミッション：なし



【問合せ先・電話番号】  
茨城県境町 企画部 地方創生課 0280-81-1309